



参加者募集

令和2年度 オンラインセッション ワークショッププログラム



白神ももこ【しらが・ももこ】
振付家・演出家・ダンサー /
富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ芸術監督

コーディネーター 白神ももこ

2020年、新型コロナウイルスの出現で私たちの生活環境が一転してしまい全世界の人が未知なる道を模索していくことになりました。劇場もアーティストもその空間や機構、企画や表現方法を考え直さなくてはならない局面に立たされ、既にさまざまな企画や表現に挑戦している人もいれば、なす術が分からず立ち尽くしてしまっている人もいます。今回のプログラムでは、オンラインを利用しながら地域や自分の劇場の特徴などを今一度見直し、参加者やコーディネーター、アーティストとの対話を通して「今何をすべきか」のみならず「今何がしたいのか」を発見し、実際にかたちにしてみるまでを行います。コーディネーターである私自身も初めての試みですし、みんなが初めてのことです。このラボの時間を活用し、色々な能力やノウハウをシェアしながら一緒にまだルールのない未知のものに面白がって取り組めたらと考えています。

「ステージラボオンラインセッション」は、公共ホール・劇場等及び地域の文化・芸術に携わる地方公共団体の職員の方々を対象としたオンラインで実施する研修プログラムです。

日程 令和3年2月25日（木）－26日（金）

- 日程
- 会場 オンライン ※双方向オンラインツール（Zoom、Google ドライブ、Spatial.Chat 等）を使用予定
- コーディネーター 白神ももこ サブコーディネーター 大園康司、山本麦子
- 定員 15名程度 参加費：無料
- 対象 公立文化施設の職員、地域の文化・芸術に携わる地方公共団体の職員

申込方法 ※締切：令和3年1月20日（水）必着

（一財）地域創造ホームページ「人材育成・研修」→「ステージラボ」から、募集要領、参加申込書、アンケート回答票をダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、メールでお申込みください。 ※民間事業者の場合は副申書が別途必要

お問合せ：（一財）地域創造 芸術環境部 児島・吉川・崎山
TEL：03-5573-4183 E-mail：kensyu@jafra.or.jp

主催：一般財団法人地域創造

詳細はこちらから



令和2年度ステージラボ オンラインセッション ワークショッププログラム 参加者募集

「ステージラボ オンラインセッション」のプログラムのうち、双方向オンラインツールを用いて、ワークショップやグループディスカッションなど少人数ゼミ形式で行う「ワークショッププログラム」について、参加者募集を行います。詳細は、地域創造ホームページより募集要領をご覧ください。皆さまのご参加をお待ちしております。

【プログラム内容[全4回]】

令和3年 2月25日 [木]

①10:00-12:00 「自分のことを紹介してみる」

事前課題の動画を使って、自分の職場を紹介し合います。

②14:00-17:00 「相手のことを聴いてみる、話してみる」

プログラム①の職場紹介をもとにディスカッションを行い、相手の面白いと感じる視点から自分のいるところを見つめ直し、視野を広げていきます。

令和3年 2月26日 [金]

③10:00-12:00 「動いてみる、言葉にしてみる」

ダンサーのパフォーマンスをオンライン上で鑑賞・体験し、感じたことを言葉にして相手に伝えます。動きに対するダンサーの考えや鑑賞者の感覚等についてディスカッションしながら、言葉でないものを言葉で表現する方法を見つけていきます。

④14:00-17:00 「とにかく、なんとかする」

グループに分かれ、プログラム①～③のワークを踏まえた新たな視点で、グループごとに1本の職場紹介動画の作成を目指します。

会場 オンライン ※双方向オンラインツール（Zoom、Google ドライブ、Spatial.Chat 等）を使用予定

定員 15名程度 参加費：無料

対象 公立文化施設の職員、地域の文化・芸術に携わる地方公共団体の職員

事前課題 参加決定者にはプログラム①で使用する2～3分程度の動画を作成していただきます。詳細については、参加決定後（2月上旬ごろ）にお知らせします。

受講環境 双方向オンラインツール（Zoom、Google ドライブ、Spatial.Chat 等）を使用して実施予定です。参加決定者は、各ツールを使用するために必要な環境を事前にご準備いただきます。

申込締切 令和3年1月20日（水）必着

※参加にあたって不安に思うことや、ご不明点がございましたら、担当までお問合せください。

白神 ももこ <コーディネーター>

振付家・演出家・ダンサー / 富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ芸術監督



衣装デザインや保育士、イラストレーター、パリスタなど多彩なパフォーマー達で構成されたダンス・パフォーマンス的グループモモンガ・コンプレックスを主宰し、普段の生活の中の些細なできごとや個人史、願望などに着想したダンスを用いた作品を創作し活動している。2017-2018年度シーズン文化財団ジュニアフェロー。ダンスウェル・ティーチャーズ・コース修了（イタリア・パッサノー・デル・グラッパ市）。現在、劇作家・演出家の田上豊氏と共に富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ芸術監督を務める。

大園 康司 <サブコーディネーター>

振付家・ダンサー・ワークショップデザイナー・舞台音響家 / ダンスユニット・かえるP主宰



5歳より日本舞踊を学ぶ。桜美林大学総合文化学群演劇専修卒業。青山学院大学ワークショップデザイナー育成プログラム修了。2010年より橋本規靖とダンスユニットかえるP (<https://kaeru-p.com/>) を結成し、多数のダンス作品を創作。また、小学校や地域コミュニティなどで幅広い年代を対象としたワークショップを実施している。近年の研究テーマは「ダンスとアーティストと街との関わり、持続可能性」について。そのほか、舞台音響プランナー/オペレーターとして演劇作品の創作現場に携わっている。

山本 麦子 <サブコーディネーター>

愛知県芸術劇場 プロデューサー



1982年名古屋生まれ。大学卒業後、広告代理店営業職で7年勤務後、2014年4月愛知県芸術劇場（公益財団法人愛知県文化振興事業団）に転職。同7月より企画制作グループにプロデューサーとして配属される。以後、主に演劇関係の自主事業担当として、AAF戯曲賞、プロデュース公演、ファミリー・プログラム県内巡回公演等を担当している。2015年ステージラボ広島セッション自主事業II（演劇）コース参加。

「ステージラボ オンラインセッション」全体の概要

◎テーマ「『地域』と“育む”これからの劇場運営」

地域の資源や特色、人材を発見する目と、それを地域と一緒に育む対話力と、発信していくための方法を考察し、これからの劇場運営の在り方と、公立文化施設職員に求められる役割について考えます。

◎開催概要

[日程] 令和3年2月24日（水）～26日（金）[3日間] [会場] オンライン

[予定プログラム] シンポジウム、ワークショッププログラム、オンライン交流会、アーカイブ配信（映像による研修）など

※一部プログラムを除いて、視聴参加が可能なプログラムを予定しています。（視聴申込受付は、1月下旬予定）